

放送ストリーミング情報掲載

放送ストリーミング情報【2024No.357】(HP 掲載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：ヨーゼフ・ハイドン

曲名：交響曲第 54 番ト長調

演奏：ジョヴァンニ・アントニーニ指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/55633>

2024 年 11 月 2 日大ホールでの演奏です。



アントニーニとサイドがハイドンで共演

ハイドンのカンタータ《ナクソスのアリアンナ》は、ジェットコースターのような感情の起伏を描いた作品です。至高の愛の喜びから不安、そして見捨てられたという衝撃的な気づきに至るまで、ソプラノ歌手ファトマ・サイドはそのすべての側面を、ベルリンフィルとジョヴァンニ・アントニーニの指揮のもと、感動的に響かせました。18 世紀音楽のスペシャリストであるアントニーニは、さらにハイドンの 2 つの交響曲とモーツァルトの劇音楽《エジプト王タモス》の抜粋を指揮し、「啓示的」なコンサートであったと評されました（「ターゲスシュピーゲル」紙）。

以上の他に下記が演奏されました。

ヨーゼフ・ハイドン カンタータ《ナクソスのアリアンナ》Hob. XXVIb:2

ファトマ・サイド(ソプラノ)

ヘンリー・パーセル 《ダイドーとイニーアス》より〈ダイドーのラメント〉

ファトマ・サイド(ソプラノ)

ヨーゼフ・ハイドン 交響曲第 44 番ホ短調《悲しみ》

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

劇音楽《エジプト王タモス》K. 345 (抜粋)

今回も仮想アース Crystal Ep-G の導入(4)で報告した、Crystal EpY-G のスピーカーアキュライザーの出力側のマイナス端子への接続を行っています。

ハイドンの交響曲第 54 番は軽快で爽やかな曲で、アントニーニの切れのよい指揮でハイドンらしい表情を見せてくれます。

ハイドンのカンタータ《ナクソスのアリアンナ》は、ダイナミックなサイドのソプラノの歌唱が大ホールに力強く響きます。

パーセルの《ダイドーとイニーアス》より〈ダイドーのラメント〉は、アンコール曲のようで、サイドに対し聴衆の盛んな拍手が送られていました。

ハイドンの交響曲第 44 番《悲しみ》は標題のとおり、憂愁の表情を湛えた曲で、弦の繊細な旋律が聴きどころです。

モーツァルトの劇音楽《エジプト王タモス》K. 345 は、劇音楽とありますが、オペラに似たような曲です。

スピーカーアキュライザーの出力側のマイナス端子に Crstal EpY-G をセットした効果でどの曲も、細部の描写が向上しています。



以上